



美食地政学とは？

Gastronomy-Geopolitics

美食学（ガストロノミー）とは、単に食材の加工法や調理法を探求し、味わいの楽しさを追求する学問ではありません。それは、料理を基点として、芸術、歴史、科学、社会学といった多様な文化的側面から、人間と食との深遠な関係性を考察する知の営みです。

一方、美食地政学は、その美食学の概念をさらに発展させ、食の起点である自然生態系へと考察の範囲を広げます。生態系に関する科学的知見を深め、その管理保全技術を構築すること。そして、食のサプライチェーン全体のグリーン化を推進し、環境配慮型の消費行動を社会に根付かせること。これらを達成するために、政治、産業、教育といった地域の多様な知と力を結集し、気候変動に適応した持続可能な食と、それを支える新たな経済・社会システムの構築を目指すための、新しい羅針盤となる考え方です。



美食地政学のラボ

仙台市の東北大学青葉山新キャンパスを中心拠点に、志摩市・東松島市に、美食地政学のラボを設置しています。

SHOKU Lab (食ラボ)

宮城県仙台市
東北大学青葉山新キャンパス
環境科学研究科本館1階

みんなで使えるキッチンスペースを設置。シンポジウムや会議後の交流会などに利用されています。



志摩サテライト

三重県志摩市
近鉄鵜方駅前

沿岸環境の調査拠点のほか、一部事務機能に加え、会議や講座、ワークショップなどを開催しています。



AAG Lab

三重県志摩市
志摩スペイン村内

アクアポニックスを核とした学びの空間。修学旅行などの見学会を実施しています。



Aqua and Agriculture Garden Lab

nobiruno lab.

ノビルノラボ

宮城県東松島市
キボッチャ内

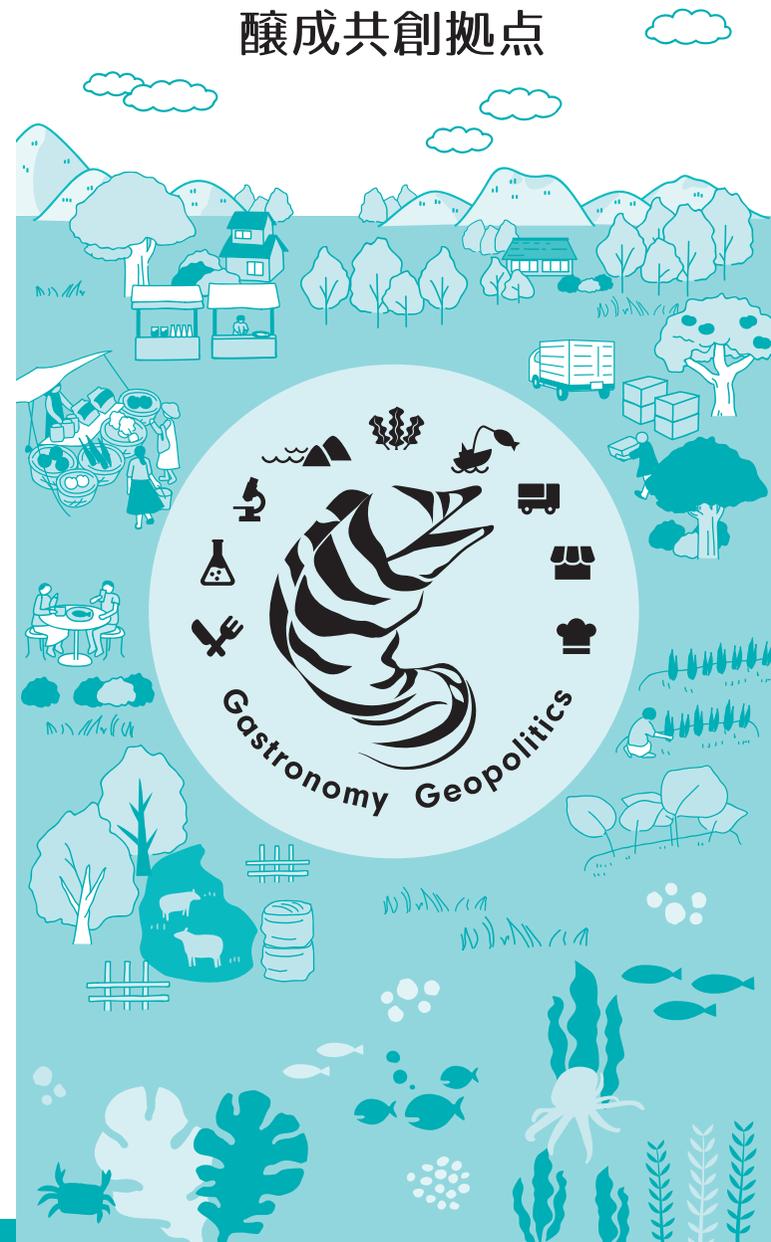
のびるのワークショップなど、講座を開催しています。アクアポニックスやエディブルガーデンを核とした空間デザインの研究を実施しています。



美食地政学に基づく

グリーンジョブマーケットの

醸成共創拠点



東北大学 大学院環境科学研究科 地域共創ビジョン推進室

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1

TEL 022-752-2239 E-mail erpc_vision@gastro-geopoli.com

▼ WEB <https://gastro-geopoli.com/gastro/>



本研究は、JST共創の場形成支援プログラムJPMJPF2110の支援を受けたものです。

TOHOKU UNIVERSITY



食をめぐる 環境面での課題

近年、温暖化や海流の蛇行といった環境変化は、私たちの食に深刻な影響を及ぼしています。干ばつ、洪水、猛暑による高温障害は、農作物の収穫量低下や旬のスレを引き起こします。また、海水温の上昇や黒潮の蛇行は、漁獲できる魚種の変化、藻場の喪失、特定の魚種の大量発生などを通じて、地域の漁業を根底から揺さぶっています。これらの影響は一次産業にとどまらず、食をめぐる産業・消費のあらゆる場面に及んでいます。例えば、見慣れない魚が大量に水揚げされても、食文化に馴染みがないために消費者の抵抗感を生んでいます。野菜や果物に至っては、色や形といった見た目だけで「規格外」と判断され、食べられるはずの食材が日々大量に廃棄されているのが現状です。

私たちは今、これらの環境変化の中で、気候変動に適応した食のサプライチェーンを確立しなければなりません。この変革を推進するためには、新たな価値を創造する多様な「グリーンジョブ」の創出が不可欠です。

持続可能な将来のビジョン

気候変動に適応した食のサプライチェーンを実現し、
世代を超えた人の繋がりを育み、
自然に寄り添い豊かに暮らせる地域共創社会



G cube

美食地政学イノベーターズガレージ
Gastronomy-Geopolitics based Inoveters' Garage

若手研究者同士の交流の場を形成し、複数の研究者が互いに協力しあい、自身の研究精度を上げながら、プロジェクトビジョンの達成に向けて若手人材が力を発揮する場として設置。G cube で生み出される研究成果、事業提案の社会実装をプロジェクト参画者全員で支援しています。

G cube Students

未来の研究者育成プログラムとして、博士課程・修士課程学生のプロジェクト活動をサポートしています。

知の創出を目指す

研究開発課題

Task 1



農林水産資源の
適切な管理と環境保全

研究開発課題リーダー

藤井 豊展

東北大学大学院農学研究科
准教授

Task 2



栄養塩類の適切な管理 /
ライフサイクル環境評価

プロジェクトリーダー

研究開発課題リーダー

松八重 一代

東北大学大学院環境科学研究所
教授

Task 7



生物資源量の把握と
適正利用に向けた知の導出

研究開発課題リーダー

村上 弘章

東北大学大学院農学研究科
助教

Task 3



地理的環境認証・
スランディング

研究開発課題リーダー

香坂 玲

東京大学大学院農学生命科学研究科
教授

ビジョンを実現するための4つのターゲット

知の創出

自然資本を適切に
保全管理・利活用するための
知的基盤の構築



美食サプライチェーン

気候変動に適応する食を
実現するための新たな
サプライチェーンの創出



エコシステムの醸成

自然と共生した豊かな
地域経済実現のための
マーケットエコシステムの醸成



グリーンジョブ教育

地域グリーンジョブ
マーケット醸成のための
教育コミュニティ形成



社会実装を目指す

研究開発課題

Task 4



美食地政学に基づく
ビジネス・サプライチェーン

研究開発課題リーダー

丹治 朋子

宮城大学
食産業学群フードマネジメント学類 准教授

Task 5



消費者・生産者の
行動変容

研究開発課題リーダー

古川 柳蔵

東京都大学総合研究所
サステナビリティ学連携研究センター 教授

Task 6



キャリア教育・
グリーンジョブコンテンツ

副プロジェクトリーダー

研究開発課題リーダー

三橋 正枝

東北大学大学院環境科学研究所
環境研究推進センター 特任助教

Task 8



地域共創社会を育む
空間デザイン

研究開発課題リーダー

湯浅 かさね

千葉大学大学院工学研究院建築学コース
助教